



10月学習会報告

2016. 11.5



南筑後外国語教育研究サークル

会長 柳川市立三橋中学校 校長 境 宏文

第5回学習会 10月17日(土) 13:30 ~ 16:30 三橋公民館にて

日増しに寒さが加わってまいりました。多くの学校が研究発表会や学校行事等で、目まぐるしい日々を送られていることと思います。さて、10月15日(土)に三橋町公民館において、20名の先生方と共に、広川町立広川中学校 小田啓子先生の日々の授業実践(授業を撮影した VTR を視聴しながらの学習)から教科書本文の取り扱い方について学習し、小田先生から多くのことを学ばせていただきました。生徒の授業中の姿、show & tell 発表の姿から、日々の授業の先にある姿と照らし合わせることもでき、何を取り組んでいくべき明らかにすることができました。(文責 田中、古川)

授業実践報告「積み重ねる日々の授業の一コマ」 3年生の授業 VTR より

広川町立広川中学校 小田啓子先生

主眼

- ・本文内容の概要をつかむことができるようにする。
- ・内容を把握した上で、作者が最も伝えたい言葉を強調し、感情をこめて音読することができるようにする。



【ALT へ日本文化の Show&Tell
3年1学期のパフォーマンステスト VTR】

- 生徒が話すスピードが速い
- 笑顔でスピーチしている
- ジェスチャーが多い
- 発音がきれい

1年生の時から徹底して積み重ね、鍛えた指導の結果、このようなすばらしい生徒が育ったということ。後輩達のよいモデルとなりますね。

★New Horizon 3rd Unit 4(4) 本文理解 ★

Goal: 中澤さんの思いを理解して、感情こめて読めるようになろう!

1. 帯活動(Small Talk)3分
トピック例…My favorite シリーズ
What did you do on this weekend? (週の始めの授業)
2. ピクチャーカードを使った QA 5分
既習の文法を多用しながら、生徒と先生の活発なインタラクションを行う。
3. 本文を読んで(1回読む)日本語の質問に答える(1回) 5分
「発問:バイオリンはその後どうなっているのでしょうか。」について、読んだ後にペアで考えさせ、概要を把握させる。
4. 新語の導入と練習 10分
フラッシュカードでテンポ良く練習させる。
5. 本文を読んで(1回読む)、TF と QA に答える 7分
本文内容を徐々に明確にさせる。 ※文法ポイント、訳はプリント配布
6. 読みの練習 10分
音読だけで終わるのではなく深い読みをさせるために、どの語に感情こめて読むか見つけさせる。(本文中から3語選ぶ、その理由を考える)
ジェスチャーを付けてペアで練習させる。
7. 振り返り 10分
生徒たちがわかりやすい評価項目にする。

★協議(グループ協議) 小田先生の授業実践から★

- ・単に「本文を読めるようになる」ではなく、**読む必要性**を生徒に意識させることを大切にされ、様々な手だてを講じられています。また、本文内容を理解しながら読ませるために、ジェスチャーを付けながら読ませたり、暗唱させたり(授業後、先生に暗唱を評価してもらう)することでスピーキング(表現力)にも効果をもたらすことが分かりました。
- ・内容把握の先生との QA についても、生徒の発言に対して、Why? How? と追及され、インタラクティブに子どもの考えを導き出させている。
- ・授業、家庭での課題、授業後の見取り(暗唱)そして定期考査の内容 すべてが関連していて、授業で学んだことを定着していく工夫が図られている。

【教科書会社(東京書籍九州支社営業課)の河村さんより】

教科書本文の冒頭に書かれているのは(今回であれば「バイオリンはその後どうなっているのでしょうか」)、本文の内容理解(読解)の着眼点にすぎない。今回の小田先生の授業は、その先にある、本文内容と照らし合わせて自己の考えを表出させるといった着眼点(練習問題の最後に掲載している Read and Think)を意識した授業である。実際には、どの授業でもこの点にまで到達できていないのが現状。しかし、求められている資質・能力から見ると欠かせない指導内容である。